

生活支援に関するアンケート調査結果報告書



1. 目的

アンケートは、生活状況や困りごと、地域の良いところや課題を把握することにより、高齢者の方が自分の住み慣れた地域で、より長く生活していけるよう、支援体制整備を行うことを目的としています。

2. 調査期間

平成29年12月20日～平成29年12月29日

3. 調査対象

村内65歳以上の高齢者（島外・施設入居者は含んでいません）

4. 調査方法

訪問による聞き取り（民生委員児童委員協議会・社協職員）

各字ミニデイ参加者に聞き取り（社協職員）

自宅（対象者）に配布、後日回収

5. 回収状況

対象人数	289人	回答者	238人	回収率	82.4%
------	------	-----	------	-----	-------

生活支援に関するアンケート調査の結果

対象者：村内65歳以上の高齢者（島外・施設入居者は含んでいません。）

対象人数	289人	回答者	238人	回収率	82.4%
------	------	-----	------	-----	-------

あなたご自身のことについてお尋ねします。

設問 1. あなたの年齢は何歳になりますか

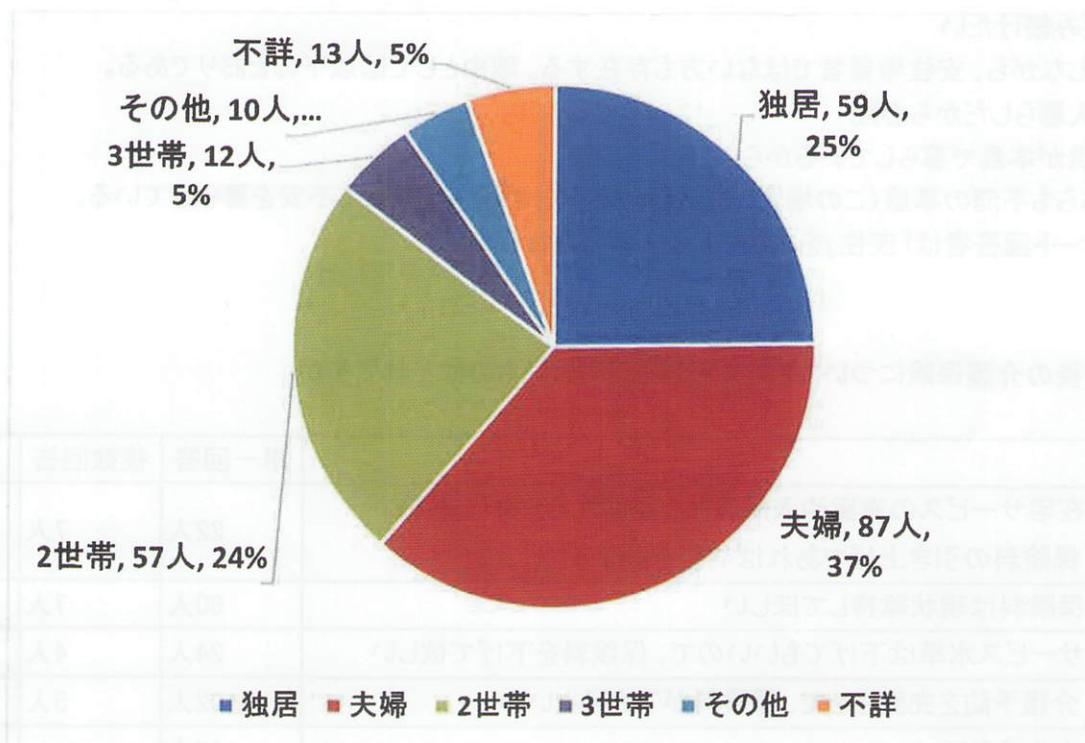
設問 2. 性別はどちらですか

年齢	65歳～74歳	75歳～84歳	85歳以上	不詳	合計
男	61人	41人	11人	5人	118人
女	40人	38人	28人	7人	113人
不詳	人	1人	1人	5人	7人
合計	101人	80人	40人	17人	238人

設問 3. 居住地域

田名	前泊	我喜屋	島尻	野甫	不詳
58人	43人	73人	50人	12人	2人

設問 4. 現在、自宅に住んでいる家族構成を教えてください

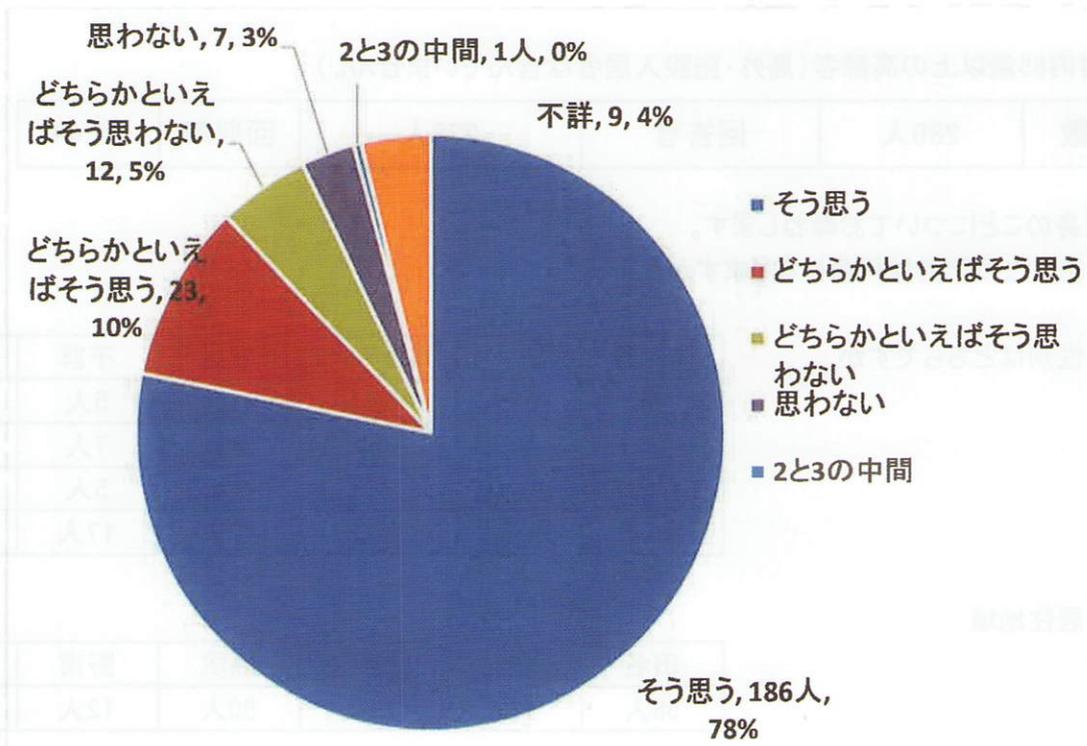


アンケート結果から目える伊平屋村の現状

- ① 独居老人（高齢者65歳以上） 25%
- ② 夫婦世帯（高齢者） 37%
- ③ 2世帯（親子・親孫） 24%

①②③の結果より、村は「子だくさん」のイメージとは乖離し、他離島市町村と同様「独居・高齢夫婦」世帯が多いと考えられる

設問 5. あなたは、今後も伊平屋村に住み続けたいと思いますか



アンケート結果から見える村民の安住への考え方

① 住み続けたい

しかしながら、安住希望者ではない方も存在する。理由としては以下のとおりである。

- ・一人暮らしだから心配
- ・子供が本島で暮らしているから

等どちらも不測の事態(この場合、病気、けが等を指す)を想定して不安を募らせている。

アンケート回答者は「安住」を求めていると考察される。

設問 6. 今後の介護保険について、あなたの考えに近いものはどれですか

	単一回答	複数回答	合計
1. 在宅サービスの充実や入所施設を整備するために必要な保険料の引き上げであればやむを得ない	22人	7人	29人
2. 保険料は現状維持してほしい	60人	7人	67人
3. サービス水準は下げてもいいので、保険料を下げたい	24人	4人	28人
4. 介護予防を充実させて、保険料が下がるといい	92人	5人	97人
5. わからない	16人		16人
6. 不詳	16人		16人

アンケート結果から見える「介護保険」への考え方

① 保険料維持・下げて欲しいという意見が多い

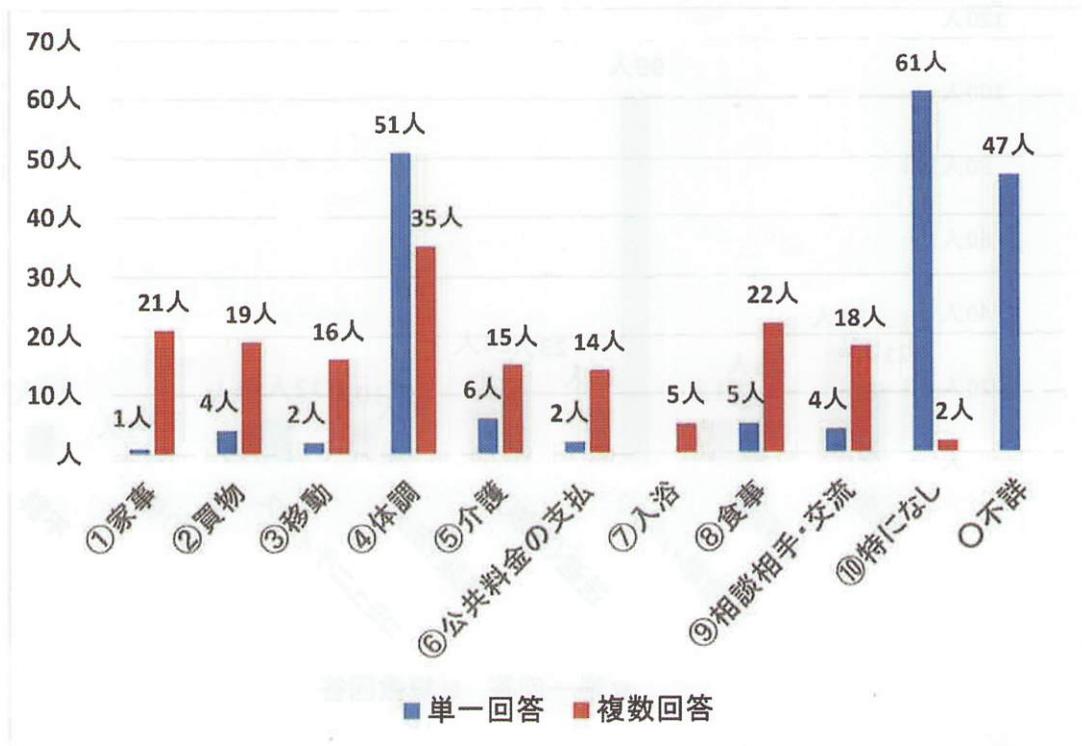
② 介護予防の充実を求める声が多い。理由は以下のとおり

- ・公民館などで体操やスポーツメニューを増やしてもらいたい
- ・健康講話・講演会などをやってほしい

介護保険事業を通じて介護予防のメニューの充実を求めている。

あなたの生活についてお尋ねします

設問 7. あなたが生活や暮らしの中で困っている事はありますか



アンケート結果から見える「困り事」への考え方

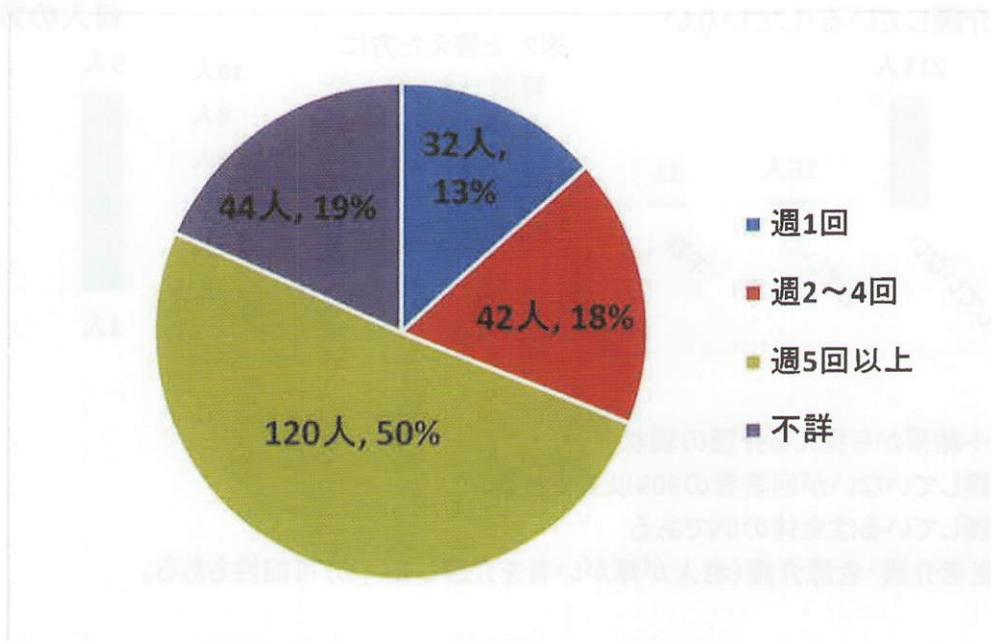
① 「特になし」の意見が多かった

理由としては「家族・友人等の協力してもらい、生活を営んでいる」

従って「結い(ゆいまーる)」の精神が地域に色濃く残っている実状が見える。

設問5とも関連するが、体調面の不安があり、「困り事」として回答している。

設問 8. 外出していますか

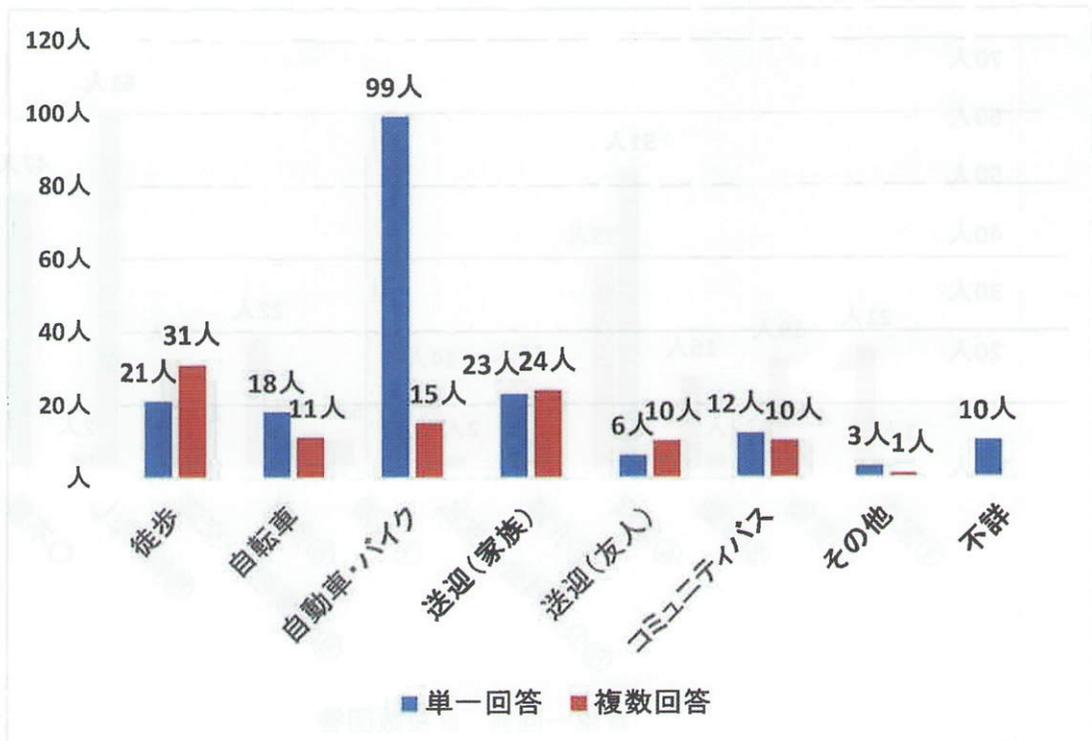


アンケート結果から見える外出頻度についての考察

① 村内高齢者は比較的外出を行っている

村の高齢者の方は、比較的アクティブ(出不精)ではない。積極的に交流する意欲はある

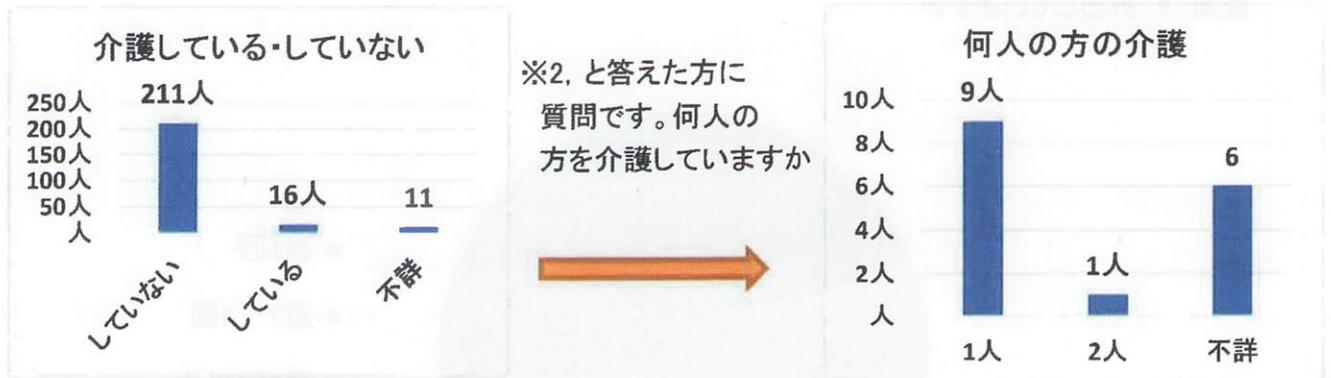
設問 9. 診療所や買い物に行く場合、どんな交通手段を利用していますか



アンケート結果から見える利用交通手段

- ① 圧倒的に、自動車・バイク等を自分で運転して移動している。
- ・他方、村内周遊バス(コミュニティバス)の周遊時間と当該老人が利用したい時間のギャップがあると考えられる意見もあった

設問 10. 現在、家族の介護をしていますか

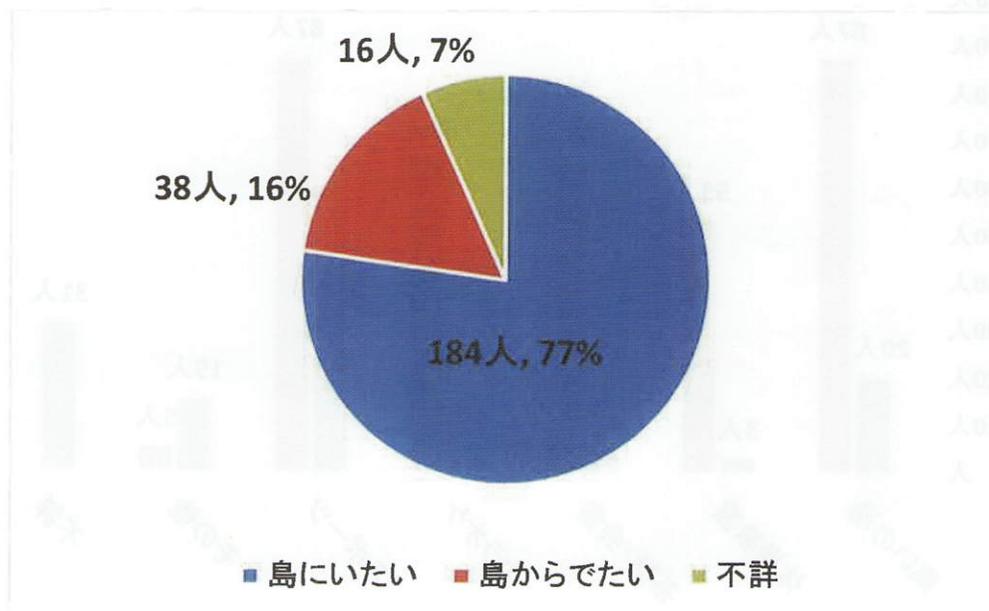


アンケート結果から見える介護の現状

- ① 介護していないが回答者の90%以上である。
 - ② 介護しているは全体の6%である
- 但し、老老介護・老障介護(老人が障がい者を介護している)可能性もある。

もし、病気や認知症などで介護が必要となったとして、お答えください。

設問 11. あなた自身、どこで介護を希望しますか



アンケートから見える「介護意識」

- ① 設問⑤とも関連があるが、病気や認知症になっても「伊平屋村」で生活したいとの結果がみられる
 - ・ 最後まで在宅や自宅からの通所型(デイサービス)を希望している
 - ・ 家族に迷惑をかけるため施設入所・医療関係での入院等を希望している
 - ・ 子供が本島なので、介護必要になれば、離村する。但し、本心は島に残りたい。

下記のサービスを利用する際、1時間当たりの利用料はいくらが妥当だと思いますか

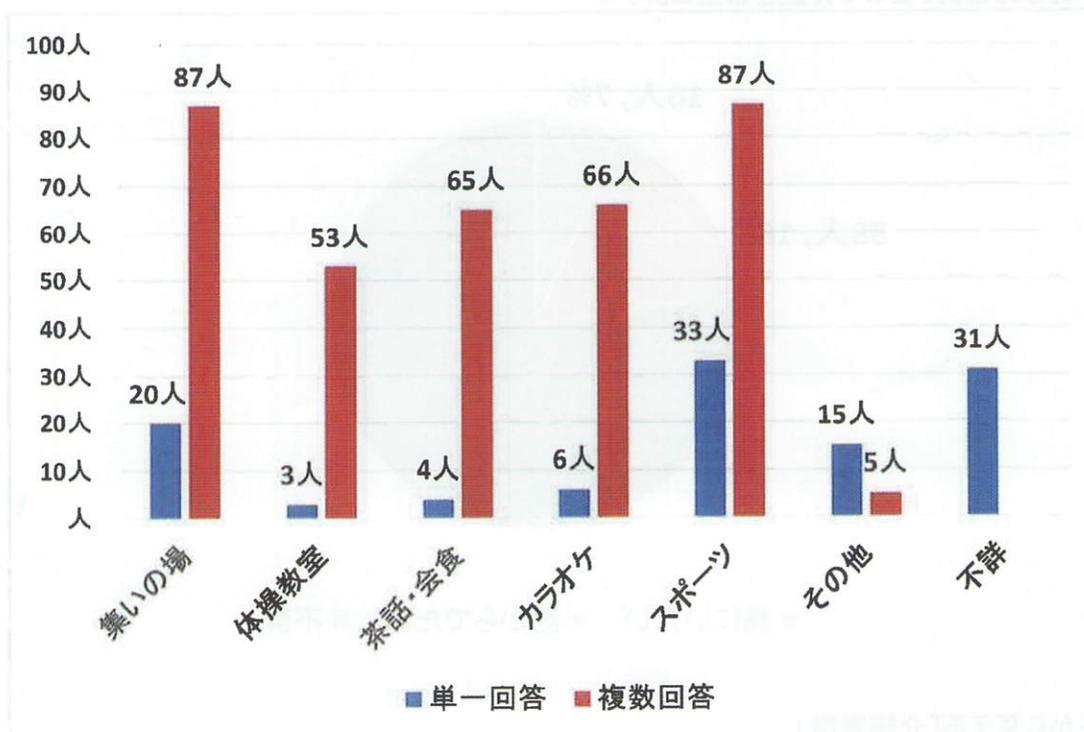
設問 12. サービス利用料金

金額	無料	300円以下	500円程度	700円程度	900円程度	1000円以上
① 買い物に行くための送迎・同行	84人	69人	27人	2人	1人	4人
② 診療所受診のための送迎・同行	87人	58人	33人	3人	2人	4人
③ 金融機関への送迎・同行	84人	64人	24人	6人	4人	3人
④ 家事援助サービス (食事作り・洗濯・掃除・簡単な修理など)	80人	35人	37人	9人	4人	26人
⑤ 庭の掃除(台風時の片づけを含む)	80人	30人	34人	8人	6人	27人
⑥ その他	1人	2人				
不詳	51人	51人	53人	47人	53人	

アンケート結果から見えるサービス料金の妥当性

- ① 無料で送迎・家事等を行う希望者が多い
- ② 「結い(ゆいまーる)」で援助をしてもらっている方もいる
- ③ ②が無い場合、家事援助・庭掃除等、体を使うサービスは1,000円以上払ってもお願いしたい
上記内容を勧案するとコミニティーサービスで送迎は「結い(ゆいまーる)」でお願いしやすいかが
家事全般や庭掃除等労働力を要するサービスは料金を払っても依頼したい事情がみられる

設問 13. どんな活動が公民館があれば、利用したいと思いますか



アンケート結果から見える公民館の活用意義

① スポーツ・憩いの場(ゆんたくができる場所)として活用したい

上記の内容を提案するとコミュニティの中核施設としての認識はあるが、利用活用の場としてはポテンシャルを十分発揮できていない(出来ているとは考えていない)可能性がある

あなたが今困っていることや、気になっていることはありますか

- ※ 病気の事(足が痛い、手足がしびれる、ペースメーカー)
- ※ 歩行範囲が少なくなっていること
- ※ 家が遠くて何かと不自由
- ※ 同年代の友人が少なくなって寂しい(話し相手が減った)
- ※ 家事全般、自分で食事が作れるよう努めたい、家事や洗濯がままならなくなったことが辛い
- ※ 介護施設の拡大、とらず園に入所の際は、待機しなくてもいいようにもっと広げてほしい
- ※ 職員体制の強化を図り良いサービスの向上に誰もが入所しやすい整備を求める
- ※ 住み慣れた地域で安心して生活できるよう、早期に特別養護老人ホームの建設
- ※ 介護料金が低い(自分の家族は自分達で・・・他人の為に介護料金を払いたくない)
- ※ コミュニティバスの時間の変更してください。(買い物のため)
- ※ 村営住宅に農機具を入れる倉庫を作って欲しい
- ※ 本島に出ること
- ※ 年金・お金の事
- ※ 島の子供達に島言葉(方言)の伝承(これこそ伝統文化学習では)
- ※ 公民館で囲碁会、演奏・演劇会、映画鑑賞会、趣味の会、子供との交流会などの希望
- ※ 各公民館に管理・世話人がいるといい

ありがとうございます。今回のアンケートで記載されていないご意見は個人が特定されます可能性があるため、記載を控えさせていただきます。